

令和6年伊賀市議会9月定例会月会議 一般質問通告者一覧

【発言予定日 9月10日（火）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
1	西田 方計	<p>1 市民の土地差別意識の現状と対策について</p> <p>(1) 県内で起こった教育公務員による部落差別について</p> <p>(2) 市民人権意識調査等から読み取れる土地差別の現状と対策</p> <p>2 サル被害対応の現状と対策について</p> <p>(1) 春以降、市内に侵入してきたサル群による被害の現状と対策</p> <p>(2) 発信機からの電波を受信する装置貸出の要望</p> <p>(3) 広域を移動するサル群に対する体制づくり</p> <p>3 「地域学校協働活動」の現状と課題について</p> <p>(1) 小学校がなくなった地域の教育力とその保障</p> <p>(2) 「地域コーディネーター」の役割と課題についての認識</p> <p>(3) 「地域学校協働活動」充実のための「社会教育」のあり方</p>
2	宮崎 栄樹	<p>1 持続可能な住民自治のために市は何をするのか</p> <p>(1) これまでの総括は</p> <p>(2) 今後の取り組みは</p> <p>(3) 高尾地区の実情から考える</p> <p>2 阿波地域の産業廃棄物最終処分場建設計画に対する市長の姿勢は</p> <p>(1) 姿勢は変わっていませんか</p>
3	市川 岳人	<p>1 産み育てやすい伊賀市</p> <p>(1) 近年の出生数及び出産での搬送件数は</p> <p>(2) 伊賀市の産科をめぐる現状と課題は</p> <p>(3) ハイリスク分娩への対応の現状は</p> <p>(4) 「（仮）伊賀周産期等医療体制懇談会」を設置し安心して出産できる体制づくりをすべきでは</p> <p>2 高齢者も安心して暮らせる伊賀市</p> <p>(1) 一人暮らし高齢者、高齢者夫婦の現状と課題は</p> <p>(2) 東員町のように「eフレイルナビ」を導入していくべきではないか</p> <p>(3) 終活支援とエンディングノートの活用実績は</p> <p>(4) 身寄りのない方の葬祭の現状と今後の対応は</p>

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
4	川 上 善 幸	1 これからの公共交通の形について (1) 廃止代替バスのあり方 (2) ライドシェアの行政バスとデマンド交通への影響 (3) 地域運行バスの未来 (4) 福祉有償運送と介護タクシーの重要性 (5) 地域の助け合い活動による移動送迎の可能性
5	福 岡 正 康	1 台風等に備えた伊賀市の防災体制について (1) 今回の台風10号被害と実施した対策は (2) 災害対策本部 (3) 地区市民センター防災配備態勢と防災訓練 (4) 避難所の見直し 2 伊賀市立大山田保育園の民営化について (1) 伊賀市立大山田保育園民営化事業者募集要領 3 高齢者福祉における高齢者への自覚の喚起と伊賀市の支援について (1) 一般介護予防事業、生きがい活動推進
6	上 田 宗 久	1 将来につなげる伊賀市消防団活性化計画について (1) 全国消防操法大会出場の伊賀市消防団の実績 (2) 団員の確保と消防団施設（車両とポンプ庫）などの現状と計画 (3) 魅力ある消防団の組織づくりと処遇改善 (4) 消防団活動に対する事業所の協力体制 2 持続可能な伊賀米生産のために (1) 令和6年度産米概算金価格（JAいがふるさと）の評価について (2) ため池の防災対策について (3) かんがい施設の老朽化について (4) 稲作の担い手・地域営農団体などの生産力強化策について

【発言予定日 9月11日（水）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
7	北山太加視	1 差別や偏見に対する行政の取り組みについて (1) 「広報いが」の人権コラムの評価について (2) 地区別懇談会の開催状況と人権意識 (3) 最近の差別事象の傾向と対処状況 (4) 人権意識高揚のための施策は (5) 人権研修の工夫 2 小規模な緑地・小公園の管理について (1) 市管理の都市計画公園の状況 (2) 管理上の相談が寄せられている内容は (3) 住環境を守るために 3 市街地の下排水管整備 (1) この問題の取り扱い方 (2) 既存の排水管の老朽度合いの分析は (3) 老朽化する排水管問題の優先度
8	山下典子	1 介護用品購入費給付事業について 2 子ども政策について (1) 放課後児童クラブ (2) 子どもの遊び場 (3) 義務教育における保護者負担の軽減 (4) 人権教育 3 空き家対策について 4 公共交通の利便性向上について
9	増田雄	1 次世代へ繋ぐにぎわい関連施策 (1) 民俗文化財の保存活用 (2) にぎわいへの基盤整備

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
10	百 上 真 奈	1 地方自治法の一部改正と団体自治、住民自治について (1) 地方自治法の一部改正における国と自治体との関係の特例について (2) 地方自治法の一部改正における指定地域共同活動団体制度について 2 市営住宅の管理および整備について (1) 市営住宅の駐車場の維持管理 (2) 福祉対応型の改善 (3) 入居実態の把握状況
11	森 中 秀 哲	1 「中心市街地活性化策」を「不発」に終わらせないために (1) 「旧上野ふれあいプラザ」は今、どうなっているのか (2) 「にぎわい忍者回廊」を「まちのにぎわい」につなげるには (3) 「城下町周辺観光施設民間活力導入可能性調査」の結果は (4) 「やってる感」ではなく「持続的な成果」を
12	西 條 エ リ 子	1 伊賀市の健康、医療政策について 2 伊賀市の道路インフラ整備について 3 伊賀市の農業政策について

【発言予定日 9月12日（木）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
13	釜 井 敏 行	1 災害に強い地域づくりのために (1) 安心して活動できる消防団活動のあり方について (2) 外国人の消防団への受け入れ (3) 避難所の現状と課題 (4) 食料備蓄の現状と課題 2 安心して働き続けられる市役所にするために (1) 職員に対するカスタマーハラスメントの実態は (2) 職員の名札表記、人事異動の報道発表等の現状と今後の方向性は (3) カスタマーハラスメントが疑われる場合の対応と防止策は 3 市民みんなの人権が尊重される伊賀市のために (1) 三重県教育公務員に対する見解と今後の防止策は (2) 「部落問題に関する生徒アンケート調査」の見解と人権教育のあり方について (3) 同和課の現状と今後について
14	赤 堀 久 実	1 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について (1) 認知症の人に関する理解を深める取組み (2) ケア技法であるユマニチュードの普及 (3) ピアサポート活動 (4) 行方不明者対策 2 身寄りがない高齢者等への支援について (1) 現状と課題 (2) 緊急通報システム (3) 持続可能な権利擁護支援モデル事業の活用
15	福 村 教 親	1 伊賀市の民主主義について
16	田 中 覚	1 何んのために（行政目的を正す（後編）） (1) 賑わいと税収について (2) 内なる賑わいと外からの賑わいについて